



川の水質や環境について勉強しました

～平成22年9月に行われた総合学習支援について～

湯沢河川国道事務所では、ふるさとの魅力・歴史の再発見や、町や地域づくりに対する興味・関心を深めてもらうことを目的に、各種団体へ「総合的な学習の時間」の取り組みに対してお手伝いを行っており、今年も多くの団体の方々からご依頼を受けて、講師の派遣などを行っています。

特に、雄物川の水質や環境に関する学習については、多くの小学校、中学校などからご依頼を頂いており、今回は9月中に実施された、雄物川に関する総合学習への支援状況をご紹介します。



院内小学校

9月13日、湯沢市立院内小学校の5年生の皆さんが、湯沢市高松地区を流れる高松川の近くで、川の環境について勉強されました。

まずは雄物川に棲んでいる生き物などについて説明があった後、パックテストを使用した簡易的な河川の水質調査を行って、自分たちの身近な河川の状況について、知っていただきました。

この後、院内小学校の皆さんは、皆瀬ダムと皆瀬頭首工の見学が予定されていたようで、川の環境だけではなく、洪水を防ぐためダムの役割や、川の水がどのように使われているかを学ばれたことと思われ、この日だけで川に関係するたくさんの事柄を知っていただけたものと思われま。



福地小学校

9月27日、横手市立福地小学校の4年生の皆さんが、横手市雄物川町深井地内の雄物川で、水生生物による水質の簡易調査を行いました。

福地小学校では、以前から雄物川の河川敷で学校行事を行ったりして川に接する機会も多く、今回は雄物川に棲んでいる川の生き物について調べてみたい、というご要望に当事務所が協力したもので、当日は、川の水位が高く、川の中心部に近づけなかったためか、たくさんの種類の水棲昆虫を捕まえることは難しかったのですが、それでも普段あまり見ることがないような生き物を、直接見たり触ったりすることで、川の中にはいろいろな生き物がいることを知っていただくことができました。



大雄中学校

9月30日、横手市立大雄中学校の2名の生徒さんが、当事務所の十文字出張所を訪れ、川の水質汚染の現状などについて学習されました。

まずは、雄物川に関する基礎知識の説明のあとに、雄物川に棲む貴重な魚類などや、雄物川の水質状況の変化、川に捨てられたゴミの惨状などについての解説のほか、どうすれば雄物川に棲む生き物を含めた自然環境を守ることができるか、といった話や、「川を汚す一番の原因は何か?」、「捨てられたゴミの種類はどのようなものが多いか?」などといった質問に答えたりするなど、短い時間ではありましたが、河川環境の現状と、その保全の重要性について、学んでいただくことができました。

